

使役動詞の基本的な使い方を学ぼう

使役の意味を表す動詞、let, make, have, get を使って『誰かに何かをさせる・してもらう』などの表現方法を簡単に説明します。これら let/make/have/get にはそれぞれ異なったニュアンスや使い方がありますので、それも含めて下記のように代法的な定文を簡単にまとめました。

- ★ let を用いた場合は、”let + 人 + 原形動詞” となり、意味は『人に～させる・～する事を許可する』です。自由に何かをさせる容認のニュアンスを持ちます。
 - I will let you go home. (あなたを家に帰らせてあげましょう。)
 - Please let me know if you have questions. (質問があったら知らせてください。)
 - Please let me introduce myself. (自己紹介させて下さい。)
 - let me do it. (私にやらせて下さい。)

- ★ make を用いた場合は、”make + 人 + 原形動詞” となり、意味は『人に強制的に～させる』です。何か強いる強制のニュアンスを持ちます。(あくまでもニュアンスです)
 - He made me go out of the room. (彼は私を部屋から追い出した。)
 次に、make + 人 + 形容詞” で『人を～(の状態)にする』の意味もあります。例えば、
 - The news made us very happy. (そのニュースは私たちをととても幸せな気持ちにした。)

- ★ have を用いた場合は、”have + 人 + 原形動詞” となり、意味は義務や仕事として『人に～させる・～してもらう』です。義務・仕事として納得のニュアンスを持ちます。
 - I will have her do this work. (私は彼女にこの仕事をしてもらうつもりです。)
 - I had Kimura-san fix my PC. (私は木村さんにパソコンを修理してもらった。)

- ★ get を用いた場合は、”get + 人 + to + 原形動詞” となり、説得や依頼によって『人に～させる・～してもらう』になります。Haveと似ていますがhaveよりも依頼・お願いのニュアンスを持ちます。
 - I will get Kimura-san to fix your PC. (あなたのPCの修理を木村さんに頼んであげましょう。)
 - I got my manager to let me go to a dentist. (上司に頼んで歯医者に行かせてもらった。)

いかがでした？私の場合は特に”let”をよく使っています。例えば自分が『…を説明します』とか、忙しくてパニックになってる同僚に『それやってあげるよ』などの場合に、”Let me explain ….” “Let me do it.” というようにしています。

そのほうが、”I will explain ….” ”I will do it.” というよりも少し控えめな感じが出て対人関係もうまく行きやすいのではないかと思うからです。どんどん使ってみて下さい。

使役動詞の使い方 - まとめ

- ★ let + 人 + 動詞の原形：人に～する事を許す・許可する (容認)
- ★ make + 人 + 動詞の原形：人に強制的に～させる (強制)
- ★ make + 人 + 形容詞：人を～ (の状態)にする
- ★ have + 人 + 動詞の原形：人に義務や仕事として～させる (義務・納得)
- ★ get + 人 + to + 動詞の原形：人に説得や依頼によって～させる・～してもらう (依頼)